

# 明風

MEIFUSHIMANE

# しまね

第17号  
令和元年  
8月

発行所：かもと祐一事務所 頒布責任者：嘉本祐一  
〒692-0003 安来市西赤江町824-92 TEL.(0854)26-4149 FAX.(0854)26-4149

## ごあいさつ

今年4月に実施された島根県議会議員選挙により議席を預かりました嘉本祐一です。再び安来市民、島根県民の皆様のために二期目のお仕事ができることに深い感謝の念を抱くとともに、重責に大変身の引き締まる思いです。

私の所属する会派 島根県議会自由民主党においては政策審議会長を拝命しました。県民、事業者、団体の皆様からさまざまな機会を通してお話を伺いチェック、政策提言に努めて参ります。より豊かで住みやすい安来と島根の未来につなぐべく、精一杯頑張る所存ですので、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

6月定例会が6月6日(木)～7月2日(火)にかけて行われました、明風しまね第17号では、主にその報告を行います。



## 丸山知事就任後 初の定例県議会における 所信表明ポイント

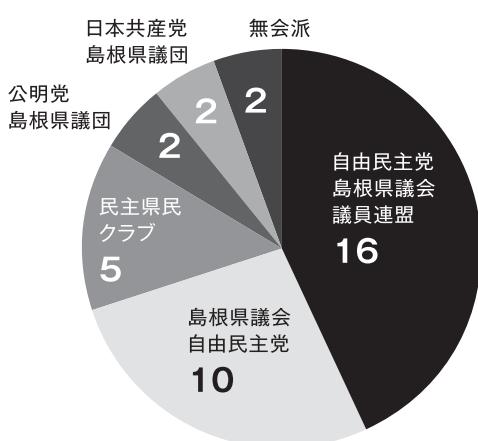
- ◎「島根創生」の実現に全力を尽くす。新しい総合計画・総合戦略である島根創生計画では、概ね10年後の島根の目指す将来像を、「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」とする。
- ◎「現場主義」と「県民目線」に徹する。
- ◎合計特殊出生率は目標を5年前倒しし、2035年に2.07とする。社会移動の均衡(プラスマイナス0)については目標を10年前倒しし、2030年に均衡を目指す。(2018年現在 島根県の合計特殊出生率は1.74で、社会増減は▲169人)

## 議会の構成について (敬称略)

委員会等名	委員名
議長・副議長	(議長) 中村 芳信 (副議長) 中島 謙二
総務委員会	○生越 俊一、○福井 竜夫
文教厚生委員会	○田中 明美、○吉田 雅紀
農水商工委員会	○高橋 雅彦、○岩田 浩岳
建設環境委員会	○白石 恵子、○高見 康裕
議会運営委員会	○田中 八洲男、○池田 一
地方創生・行政改革調査特別委員会	○大屋 俊弘、○山根 成二、○角 智子
中山間地域・離島振興特別委員会	○園山 繁、○加藤 勇、○平谷 昭
監査委員	山根 成二、須山 隆
その他	

\*◎は委員長、○は副委員長

## 議会の会派構成について



## かもと祐一の議会及び会派での役割について

議会	議会運営委員、文教厚生委員会委員、中山間地域・離島振興特別委員会委員
会派	政策審議会長(会派 島根県議会自由民主党)



## かもと祐一の質問

2期目初回の質問は、1期目(8~4年前)に質問した項目の中からその後の進捗状況を確認するため、行財政改革のための県有財産管理と外国人観光客誘致に絞って質問をしました。

**Q 行財政改革のための県有財産管理について取組と成果は?**

**A** 維持保全経費の平準化と施設の長寿命化、県有施設管理業務の一括委託などに取組んでいる。年間当たり、民間ビル借り上げ解消で約2,500万円の費用負担減、LED照明設置による約900万円の電気使用料削減など、過去5年間で25億6千万円の未利用財産の売却、自動販売機設置の入札制度導入による3,600万円/年の収入増など

**Q 外国人観光客誘致について、島根県が誘致対象国に上げている台湾、韓国、香港、タイ、フランスからの観光客に発信したい島根ならではの魅力とは何か?**

**A** 豊かな自然、古きよき歴史文化といった島根らしい魅力を生かしながら、対象国ごとの興味、関心に応じて、伝えていくことが大切。台湾や香港、韓国、タイでは、温泉や美肌への関心や評価が高い。イメージとして全国1位の美肌県として、美肌を連想させるような温泉や食をPR、サイクリングやトレッキングといったアクティビティも人気。欧米では自然や歴史、文化への興味や関心が高い。フランスに対しては、隠岐での自然体験や生活に溶け込んだ茶の湯の文化体験、石見神楽など、伝統文化の由来や作法を丁寧に伝えていくことが効果的。

**Q 島根の世界遺産、そして日本遺産(例えば、出雲國たら風土記)の連携による外国人観光客誘致のための取り組みについて伺う?**

**A** 遺産をつなぐという視点をクローズアップさせた形でのコース設定までは、これまで行っていない。世界遺産は、その希少な価値から、海外でも認知度や関心が高く、また、日本遺産は地域に根差した文化財にテーマ性のあるストーリーを持たせることで、魅力が高いものとなっている。こうした貴重な観光資源を、その背景やストーリーを含め丁寧に紹介し、それらを組み合わせることで、より魅力が高まることから、外国人に興味を持っていただけるものと考える。魅力ある遺産をこうして連携させることは、それとの相乗効果と、またより広範囲に県内を周遊していただけることが期待できる。こうした観点から、どういったコース設定など商品造成ができるのか、関係する市町など、関係者とともに考えてまいりたいというふうに思っている。



# 補正予算の概要 約3億2,000万円

## 出雲縁結び空港の機能充実 1億9,500万円

国際チャーター便運航時の利便性向上のため、国際線ターミナルの施設・設備を整備、また、国内線の空港利用者の増加への対応も含め中期的な施設・設備整備を検討

## 水田園芸の取組の加速化 約3,400万円

- ①園芸拠点の体制づくりの支援  
産地化の中核となる農業者が生産拡大を進める際に必要な施設・機械の整備を支援【新規】[助成率] 1/3
- ②リース方式による初期投資の軽減  
・JA等が国の補助事業を活用してリースハウスを建設し、担い手にリースする場合のリース料支援について、対象件数の増加により支援費を増額  
・国の補助事業の対象外である附帯施設の整備を支援【新規】[助成率] 1/3
- ③基盤整備の促進  
収益性を高める排水改良等の基盤整備により水田園芸を拡大した際に、地元負担額を軽減する仕組みを創設

## 農林大学校の再編・拡充 約2,300万円

- ①教育内容の充実  
(農業) 農業科の2年次に経営力やマネジメント教育を充実させた「自営就農コース(仮称)」を新設。また、農業知識のある方等の速やかな就農を可能とする1年制の「自営就農研修科(仮称)」を新設  
(林業) 林業科に高度な森林技術の習得を可能とする「森林技術コース(仮称)」と、企業マネジメント教育を充実させた「経営管理コース(仮称)」をそれぞれ新設
  - ②入学定員の増員  
(農業) (2年制) 30人→40人(+10人)  
(1年制) 5人(新設)  
(林業) (2年制) 10人→20人(+10人)
- ※校舎や学生寮等の改修に向けた調査設計も実施

## 女性活躍の推進 500万円

- ①「女性活躍100人会議」の開催～知事が県内各地に出向き、様々な分野・地域の女性と意見交換を実施、意見交換の内容などを幅広く県民に発信
- ②鳥取県との協働によるワーク・ライフ・バランス推進キャンペーンの実施～両県共通のロゴ、キャッチフレーズや動画などによる広報、家事シェア促進のためのセミナー開催など

## 首都圏からの移住定住の推進 約2,200万円

首都圏からの移住定住を推進するため、「にほんばし島根館」での移住相談等の取組を強化～移住相談体制を強化、移住に向けたセミナーを開催、地方に関心のある移住予備層の掘り起こしやネットワークの構築を推進

## 税務総合オンラインシステム等の改修 約400万円

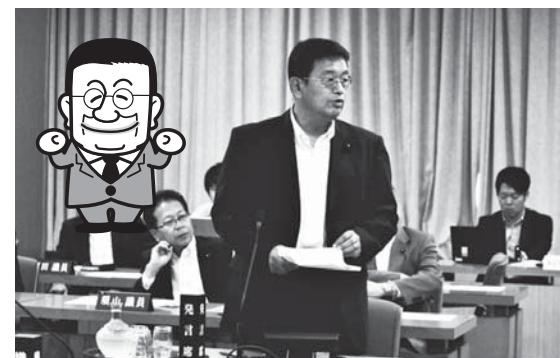
税制改正により特別法人事業税及び自動車税種別割が創設されたことに伴い、税務総合オンラインシステム等を改修

## 国際チャーター便運航の促進 約3,900万円

金浦国際空港(ソウル)～出雲縁結び空港のチャーター運航にあたり、①航空会社に対する着陸料等及びPR経費、②旅行会社に対する旅行商品造成経費の支援

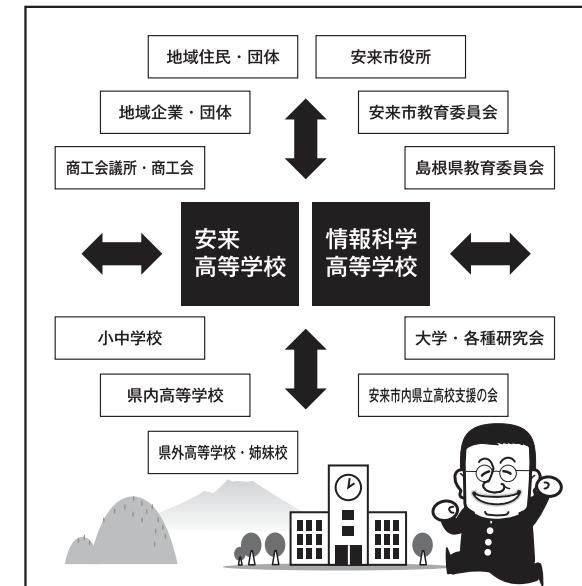
## 財源

国庫支出金/約0.2億円、県債/約0.6億円  
繰越金/約2.4億円 計/約3.2億円



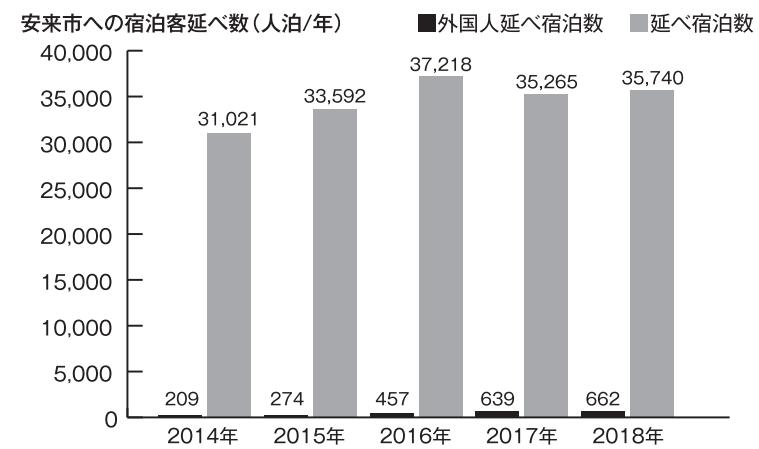
# 地域の県立高校の魅力化

先日7月10日、「安来市内県立高校支援の会」の総会に初めて出席させていただきました。この会は「安来市内の県立高校を支援し活性化させるとともに、安来市の一層の充実・活性化を図ることを目的として設立」された会です。その会合で、教育の魅力化を図ることについて、お話をされました。教育の魅力化とは、安来や島根の子どもたち一人一人に、自らの人生と地域や社会の未来を切り拓くために必要となる「生きる力」を育むため、学校と地域社会がその目標を共有し、協働を図りながら、安来や島根の教育をよりよいものに高めていくことだそうです。安来市で育った子どもたちが、市外や県外あるいは国外で活躍することもすばらしいことありますが、同時に、安来市内で家庭を築き、安来の未来を担ってくれる子どもたちが増えることも大変重要なことです。その中で、地域の高等学校が大きな役割を担うという認識から、県、安来市はもちろんのこと地域住民の皆様方をはじめさまざまな当事者が力を合わせて地域の高等学校の魅力化を図っていく必要があります。国も「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」などの事業により後押しをしています。



## 観光ひと口メモ

安来の観光は地域への経済波及効果が高く、将来性の高い産業です。滞在型も含めた観光振興を図っていくことが大切だと考えています。安来には豊かな食を支える力強い農業基盤があります。また、工芸をはじめとする匠の技、やすらぎを感じることのできる豊かな自然、歴史、伝統、文化など、観光素材としては一級品のものがたくさんあると思います。安来市への外国人観光客数は全体の宿泊客数規模に比べて少ないですが、伸び率でみると大きく増加しています。日本の人口減少・高齢化が進む中で、外国人観光客誘致が安来市・島根県にとっても大きな課題です。



## かもと祐一事務所

〒692-0003 安来市西赤江町824-92 TEL.(0854)26-4149 FAX.(0854)26-4149

e-mail:y2-kmt@dojyokko.ne.jp

かもと祐一の活動をチェック

